実施前の確認と、課題の見取り図

改訂版 標準注意検査法 / Clinical Assessment for Attention-Revised

氏名・ID：　　日付：

評価者：　　記録時刻：

01 準備・条件をそろえる

☐ 正規用紙・図版　☐ 音源・再生機器　☐ パソコン・CPT2

☐ 筆記具・時計　☐ 眼鏡・補聴器　☐ 教示理解・反応方法の確認

使用手：　　姿勢：　　睡眠・眠気・疲労：

開始：　　時　　分　／終了：　　時　　分　／休憩：　　分

02 何をしてもらうか、何を残すか

Span	聞いた数字・見た位置の順序を再現する。 順／逆、聴覚／視覚の条件を分ける。
抹消・検出	多数の刺激から、標的を探して反応する。 見落とし・標的外反応・時間を分ける。
記憶更新	入力される数字の末尾を保持し直す。 更新できた範囲と誤り方を記録する。
PASAT	続けて聞く、隣り合う数字の和を答える。 計算・聴力・提示への追従も確認する。
CPT2	画面の刺激に、条件に沿ってキーで反応する。 課題別の反応時間・誤反応等を転記する。

時間の目安：CPT2単独の公式案内は約50分。CAT-R全体の所要時間とは区別し、実施範囲・休息・実測時間を記録します。

正規課題の採点を終えてから、別の生活場面で支援を試す。

資料：日本高次脳機能学会 CAT-R・CAS（2022）／CAT-CPT2公式案内

正式な実施・採点は使用版の正規資料を確認。STROKE LAB 作成の記録補助資料。

課題別の結果と、反応の記録

改訂版 標準注意検査法 / Clinical Assessment for Attention-Revised

氏名・ID：　　日付：

評価者：　　記録時刻：

正規用紙・ソフトの結果を転記します。指標名と単位を明記し、各指標を適切な年齢基準と照合します。異なる指標を足して総合点にはしません。

課題・条件	指標名・値（単位）	基準との照合	反応・誤り方
数唱：順唱			
数唱：逆唱			
視覚性スパン：順			
視覚性スパン：逆			
視覚性抹消（標的：　）			
視覚性抹消（標的：　）			
聴覚性検出			
記憶更新（条件：　）			
PASAT（条件：　）			
CPT2：SRT			
CPT2：X			
CPT2：AX			

未実施・中止した課題と理由／追加の条件・結果：

単位の例：秒、ms、個、%など。指標の名称・分母は正規の採点規則に合わせる。

欄に入りきらない条件は別紙へ。未実施を0点や正常として埋めない。

正式な実施・採点は使用版の正規資料を確認。STROKE LAB 作成の記録補助資料。

結果を、生活の支援と再評価へ

改訂版 標準注意検査法 / Clinical Assessment for Attention-Revised

氏名・ID：　　日付：

評価者：　　記録時刻：

01 保たれた条件・難しかった条件

保たれた条件：

難しかった条件と、実際の反応：

02 一つの生活場面で、条件を変えて比べる

対象活動：　　比較する時間・量：

記録すること	いつもの条件	支援を加えた条件
環境・課題・声かけ		
停止／見落としの回数		
自力再開／促しの回数		
所要時間・達成した量		

変えた条件：　　本人の負担・気づき：

03 カルテ・申し送りの要点

① 実施課題と結果　② 実際の反応　③ 生活で確認した事実
④ 有効だった支援　⑤ 次に確かめること

再評価：日時・使用手・機器・休憩・練習経験を確認し、生活の変化も併記。

正式な実施・採点は使用版の正規資料を確認。STROKE LAB 作成の記録補助資料。